

# 令和7年度 高千穂町立岩戸小学校 学校運営協議会評価書

【評価】 4:よい、3:だいたいよい、2:もう少し、1:よくない

【重点目標】 ○ 学習への関心・意欲の向上、基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用を通じた表現力の育成

重点目標	重点目標	評価項目	平均(4点満点)期待値:3.2					考察及び改善策	学校運営協議会委員の意見
			児童	保護者	職員	平均	総合		
知づくり	学習指導	① 学校は、魅力ある授業を行い、学習への関心・意欲を向上させようとしている。	3.4	3.3	3.0	3.2	3.0	○ 職員の評価は低いが、児童と保護者の平均は期待値を超えている。これは、担任や専科等の職員が校内の研究授業を積極的に実施し、魅力ある授業を実践しようとしている成果だと考えられる。ただ、「何のために勉強しているのか」や「児童の学習意欲の向上」を図るために、職員の更なる自己研鑽が必要である。 ○ 評価平均「3.1」で達成率78%であった。児童に比べて、職員と保護者の値が低くなっている。全国学習状況調査は、国語と算数ともに全国平均及び県の平均を上回っているが、CRT検査等の結果は、学年によって全体の平均を下回っている。児童の結果を分析し、「分かる」「できる」授業を意識し、少人数ならではのきめ細かな授業を実践する。 ○ 評価は、平均「3.0」で達成率75%であった。これは、職員の自己評価が低いためだが、児童と保護者の評価は高い。毎回の授業でタブレットを活用していないものの、児童の意見を集約したり問題に取り組みせたりと各単元の振り返り等に効果的な活用はできている。今後も活用法等の研修を重ねていきたい。 ○ 評価は、平均「3.1」で達成率78%であった。児童の自己評価は高いが、保護者や職員の評価は十分ではない。家庭学習の仕方が理解できていなかったり、ごく一部の児童に家庭学習の習慣が身に付いていなかったりするので、参観日などで啓発したり個別に対応したりしながら家庭学習の仕方や習慣を身に付けさせたい。	② 学習内容の定着については、タブレットの活用が有用だと考えられるので、活用法を工夫してほしい。 ③ タブレットの持ち帰りについては、各家庭のWi-Fi状況が違うので難しいと思うが、AIドリルを活用した個に応じた学習や家庭学習の充実にもつながるので、何とかWi-Fi環境の整備を高千穂町に進めてもらい、家庭での活用を推進してほしい。 ④ 家庭学習の定着に向けて参観日での啓発や個別対応はよいと思う。一方で、抽象的な呼びかけのみで伝わるのか、個別対応が職員の負担にならないかが心配である。 ④ 学びのハードルを下げることで、家庭学習の楽しさを親子で経験し、その経験をもとに学校・家庭双方の教え方の正解を共有できるとよいと思った。 ④ 「頑張らせる」啓発ではなく、「これならできそう」と思える提案ができることを期待します。 ⑤ 図書館教育が本校の一番の課題である。参観日に親子で図書室に行き本を選ぶ取組や読書に関する講演・講話を実施して、親子で読書を楽しめるような機会を設けてほしい。
		② 児童に学年の学習内容が定着して(高まって)いる。	3.4	3.1	2.9	3.1			
		③ 担任は、タブレット等を活用し、「分かる」「できる」授業をしている。	3.6	3.2	2.2	3.0			
		④ 児童一人一人に応じた家庭学習の仕方を提案し、家庭学習の習慣が身に付くよう指導している。	3.4	2.9	3.0	3.1			
	図書教育	⑤ 児童は、学校の図書室で借りた本やその他の本を読む時間や機会が増えている。	3.0	2.5	2.8	2.8			

【重点目標】 ○ 基本的な生活習慣の確立と自他を大切にできる心や正しい判断力を育てる指導の充実

重点目標	重点目標	評価項目	平均(4点満点)期待値:3.2					考察及び改善策	学校運営協議会委員の意見
			児童	保護者	職員	平均	総合		
生活づくり・心づくり	基本的生活習慣	⑥ 児童は、「おはよう」「いただきます」等の家庭でのあいさつのほか、家庭外でもあいさつをしている。	3.6	3.3	3.5	3.5	3.4	○ 評価は、平均「3.5」で達成率88%であった。児童の自己評価が高いのは、学級担任の指導や朝のあいさつ運動等の成果だと考えられる。家庭や家庭外のあいさつについては、地域の方々にも積極的にあいさつをするよう、児童や保護者に啓発を継続する。また、あいさつ＋一言もできるような児童の育成に努めたい。 ○ 評価は、平均「3.4」で達成率85%であった。保護者の満足度は低いものの、児童と教師の評価は高い。毎月「心のアンケート」による教育相談を実施し「まごころ委員会」で共通理解して指導している成果だと考える。ただ、保護者の評価が低いので、今後は保護者にも定期的に声かけしながら、共通理解を図りたい。また、児童が教師に相談しやすいような雰囲気作りにも一層努める必要がある。 ○ 評価は、平均「3.3」で達成率83%であった。道徳科や学級活動、日常の授業等とおして、相手を思いやる心が育ってきている。また、運動会や遠足などの行事をとおして自分や相手を思う気持ちが育っている。今後も適宜・適切に自他を大切にできる心や思いやりの心を育てる手立てを講じる。 ○ 評価平均「3.3」で達成率83%であった。校内においては、各種当番や委員会活動等の取組を称賛することで責任感の醸成を図っている。保護者の評価が低いのは、家庭での取組状況によるものと考えられる。今後は保護者の情報に耳を傾けながら、家庭でも責任感の醸成を図る取組を保護者とともに考え、保護者と同じベクトルで児童にも指導していきたい。	⑥ 地域見守り隊へは大きな声であいさつができるが、その他の地域の方々にもあいさつしてほしい。ただ、今の世の中誰にでもあいさつするのは難しい時代かもしれない。 ⑦ 児童理解については、子どもの「小さなサイン」に気付く体制や1人の教師だけで抱え込まず関係職員で情報を共有するしくみ、子どもたちの抱える「困り感」を伝えるなどの「相談のスキル」を教えることが必要だと思う。 ⑦ 「いつ、だれに、どうやって相談すればよいのか」を迷わずにすむような可視化された支援体制を整えていきたい。 ⑦ 「あの先生なら話したい。聞いてくれる」と思える心のよりどころ的な関係性の構築に期待したい。 ⑨ 家庭での児童の役割を確認し、児童が家族の一員としてお手伝い等に取り組むように学校でも指導してほしい。
	生徒指導	⑦ 学校は、教育相談などを通して、児童理解に努めている。	3.6	2.9	3.8	3.4			
	思いやりの心・責任感	⑧ 学校は、道徳科や学級活動、各種行事等を通して、自他を大切にできる心を育てている。	3.4	3.2	3.3	3.3			
		⑨ 児童に、最後まで責任をもって取り組もうとする態度が身につくよう(高まって)きた。	3.4	2.9	3.6	3.3			

【重点目標】 ○ 心身ともに元気で、健康で、安全に生活する指導の充実

重点目標	重点目標	評価項目	平均(4点満点)期待値:3.2					考察及び改善策	学校運営協議会委員の意見
			児童	保護者	職員	平均	総合		
体づくり	体力づくり	⑩ 児童の体力が、向上したと感じる。	3.6	3.2	3.1	3.3	3.3	<p>○ 評価は、平均「3.3」で達成率83%であった。児童の評価が高いのは、体育科の授業や昼休みの活発な外遊びへの参加によるものと考えられる。また体力テストの結果において「A判定」が男女あわせて15名(21%)であり、体力の向上が図れた。一方で、「DE判定」が全体の14%であったので、体育科の授業を中心に体力向上を図りたい。また、来年度のスポーツプランにも示したとおり、握力とソフトボール投げの向上を図りたい。</p> <p>○ 評価は、平均「3.5」で達成率88%であった。職員と児童の評価が高いのは、年4回の避難訓練の際に、切実感をもたせる手立て(予告なしで訓練を実施、移動の放送に緊迫感等)を工夫しているからだと考えられる。ただ、災害はいつも同じ状況では発生しないので、児童が臨機応変に判断できるよう避難訓練の工夫を実施し、今後も月1回の安全点検を充実させることによる安全な環境づくりに努め、児童の危機回避意識の高揚を図りたい。</p> <p>○ 評価は、平均「3.2」で達成率80%であった。昨年度より評価が下がったのは、「元気もりもりタイム」が今年度から校時程の関係なくなつたため、健康面の指導の時間が若干少なくなったからであると考えられる。また、メディアの利用時間についても全体的に超過傾向にある。今一度、健康三原則に関する項目について指導を徹底し、態度や習慣の形成を図っている。メディアの利用についても、高千穂町の「メディア利用のルール」の児童への指導と家庭への啓発活動を参観日等で行う必要がある。</p>	<p>⑩ 校庭の危険箇所だった古い桜の木が伐採され、とてもよかったが、道路とのフェンスの低さが目立つようになり、体育の授業や外遊びに影響が出ている。子どもたちが思いっきり体育の授業や外遊びができるようにフェンスの設置を要望したい。</p> <p>⑫ メディア利用への啓発は十分にされていると思う。保護者はもちろん子どもたち自身の意識や理解が不可欠なので、現状のように家庭の協力を得ながら「できることから…」スモールステップで取り組むぐらいでよいのではないかとと思う。</p> <p>⑫ メディア利用については、やはり持たせた親の責任なので、しっかりルール作りから守らせるところまで親の取組に期待したい。戸敷教育長が話されたとおり制限できるのは大人だけである。</p>
	安全指導	⑪ 学校は、安全な教育環境づくりと児童の「危機回避意識」の高揚に努めている。	3.6	3.2	3.8	3.5			
	健康教育	⑫ 児童に、健康に関する望ましい態度や習慣が身に付いてきている。	3.5	3.1	3.0	3.2			

【重点目標】 ○ 家庭や地域社会との連携強化

重点目標	重点目標	評価項目	平均(4点満点)期待値:3.2					考察及び改善策	学校運営協議会委員の意見
			児童	保護者	職員	平均	総合		
地域の中の学校づくり	人材活用	⑬ 学校は、地域人材や地域の素材等を授業に取り入れている。	3.4	3.5	3.5	3.4	3.2	<p>○ 評価は、平均「3.4」で達成率85%であった。本年度は、地域学校協働活動推進委員を通じて地域の人材を活用することができた。そのため、専門的知識や仕事に対する思いを児童が学ぶことができた。今後も地域学校協働活動推進員の協力を得ながら地域の人材や素材を授業に積極的に取り入れることにより、児童の興味・関心を高め授業内容の充実を図りたい。</p> <p>○ 評価は、平均「3.1」で達成率78%であった。保護者の評価が高いのは、参観日の来校率が95%と高く、本年度も教育活動に対する関心が高かったからである。また、学校便りや学級便り、保健便り等の定期的な発行と学校のHPの定期的な更新により、広報活動が活性化した成果だと考える。職員の評価が低いのは、働き方改革による学級通信の発行減少が原因と考えられるが、その部分を学校便りやHPの更新で補っていきたいと考えている。</p> <p>○ 評価は、平均「3.3」で達成率83%であった。児童や保護者の自己評価は80%を達成しているものの職員の評価が低い。天岩戸保育園との交流や地域の高齢者へのお便り交流は実施できたが、校外での交流を十分に把握できていないからだと考える。今後は、地域と情報を共有しながら、可能な限り児童を地域の行事に参加させたい。</p> <p>○ 評価は、平均「3.2」で達成率80%であった。児童や保護者の評価は80%を達成しているものの職員の評価が低い。まずは、職員が高千穂GLOBALをしっかりと理解し、高千穂町のよさを理解した上で様々な学習や活動を取り入れ、高千穂町や岩戸地区への愛や誇りを児童に育んでいきたい。</p>	<p>⑬ 地域学校協働活動推進委員を通じて地域人材を活用できたことはよかった。子どもたちも身近な地域の方々と触れあうことにより、顔なじみ的な感覚を持ち、そこから故郷への想いや誇り等を持てるようになると思う。また、そうした取組により地域の方々の癒やし・生きがいとなり、相乗効果が得られるように思う。</p> <p>⑮ 学校の業務が多忙な現状にあると思うので、実現可能な範囲での地域交流が楽しめたらよいのではないかとと思う。</p> <p>⑮ 岩戸地区の行事には多く参加しているが、三田井地区で行われるものに関しては、移動手段がないので参加するのが難しい。「いっちゃんがるた大会」なども岩戸地区で開催されると多くの児童が参加すると思うので、各地区を持ち回りで開催していただくとうれしい。</p> <p>⑯ 今年度から3年生全員が「高千穂検定」を受検しているが、この取組が継続すると高千穂や岩戸への愛や誇りが育っていくと思う。</p> <p>⑯ 祭りの鉦や太鼓の後継者不足が進んでいるので、ぜひ、指導者がいるうちに学校の授業等で鉦や太鼓を学ぶ機会を設けてほしい。</p>
	情報発信	⑭ 学校は、学校参観や各種便り、HP等で家庭や地域へ積極的な情報の発信をしている。	3.2	3.5	2.6	3.1			
	地域交流	⑮ 児童は、地域の各種行事等に積極的に参加し、地域と交流している。	3.5	3.3	3.1	3.3			
	地域交流	⑯ 児童は、ふるさと(高千穂町、岩戸地区)への愛と誇りを感じている。	3.6	3.2	2.7	3.2			

【次年度の方向性についての校長所見】

本年度も学校の現状や取組をよくご理解いただき、建設的なご意見や改善策をご提案いただいた。メディアコントロールなどの家庭での役割、登下校の見守りをはじめ地域でできることなどを具体的にお示しいただいたおかげで、学校・家庭・地域で連携して子どもたちの安心・安全を守ることにつながっている。

次年度は、より具体的で実行力のある活動が行えるよう、学校・家庭・地域で連携して取り組んでいけるようなテーマを決めて熟議していくとよいと考える。